






アスパルト+デグデルデク	超速効：持効 30：70	ライゾデグ配合注 ペンフィル (販売予定なし)	—	300単位 1532円 5.11円	ノボ	10 〜 20分	1 〜 3	> 42	1日1回 食直前	4 週間	無色澄明 ↓ 混和操作が不要	<ul style="list-style-type: none"> 2015年12月に販売 → 2017年1月に長期OK 成分が「ノボラピッド+トレシーバ」 → 基礎分泌が持効型であるため、従来の混合型より作用時間が長い（日本人26hrまで、海外42hrまで評価） 混合型では唯一のフレックスタッチ製剤 30mix製剤から単位数2割減で切り替え可能（試験実施済み） インスリン依存状態（1型患者など）には、他のインスリンと併用し原則1日1回投与
		ライゾデグ配合注 フレックスタッチ	×	300単位 2294円 7.65円					1日2回 朝夕食 直前			
			↓ ○									

<混合型②> ヒトインスリン製剤

○：採用 △：限定採用 ×：非採用

一般名	混合比	商品名	採用 現行 ↓ 提案	含有単位 薬価 1単位あたり	会社名	作用時間 (hr) ※皮下注射			用法	開封後期限	性状	特徴
						発現	最大	持続				
イソフエンインスリン 二相性		ノボリン30R注 フレックスペン 	×	300単位 1993円 6.64円	ノボ	約 0.5	2 〜 8	約 24	朝・夕 食前 又は 朝食前	6 週間	白色の懸濁液 ↓ 混和操作が必要	<ul style="list-style-type: none"> ヒトインスリン製剤：追加分泌が超速効でないため、アナログ製剤に比べ立ち上がりもピークに達するのも遅い アナログ製剤の混合型にイノレット製剤やフレックスタッチ製剤がないため、リウマチ・視覚障害・手が震えるなどの問題のある患者にイノレット30Rが未だ使用されている現状がある → 今後はフレックスタッチ製剤のライゾデグを検討 懸濁液であるため、残量が少ない場合は均一に混ぜることができない → 投与する単位数を設定できなくなったとき（注入ボタンが最後まで回らない）は破棄して新品を使用する リリー社製品は他社と比較し安価
		イノレット30R注 	○ ↓ △	300単位 1920円 6.40円								
ヒト二相性イソフエンインスリン	速効：中間 30：70	ヒューマリン3/7注 カート 	×	300単位 1294円 4.31円	リリー	0.5 〜 1	2 〜 12	18 〜 24	朝・夕 食前 又は 朝食前	4 週間	白色の懸濁液 ↓ 混和操作が必要	<ul style="list-style-type: none"> ヒトインスリン製剤：追加分泌が超速効でないため、アナログ製剤に比べ立ち上がりもピークに達するのも遅い アナログ製剤の混合型にイノレット製剤やフレックスタッチ製剤がないため、リウマチ・視覚障害・手が震えるなどの問題のある患者にイノレット30Rが未だ使用されている現状がある → 今後はフレックスタッチ製剤のライゾデグを検討 懸濁液であるため、残量が少ない場合は均一に混ぜることができない → 投与する単位数を設定できなくなったとき（注入ボタンが最後まで回らない）は破棄して新品を使用する リリー社製品は他社と比較し安価
		ヒューマリン3/7注 ミリオペン 	×	300単位 1742円 5.81円								
		ヒューマリン3/7注 100単位/mL 	×	1000単位 3430円 3.43円								